



平成31年1月11日

各 位

会社名 株式会社 エ デ ィ ア
代表者名 代表取締役社長 CEO 原尾 正紀
(コード番号：3935 東証マザーズ)
問合せ先 管理部門 執行役員 米山 伸明
(TEL. 03-5210-5801)

特別損失の計上及び業績予想の修正ならびに役員報酬の減額に関するお知らせ

当社は、平成31年2月期第3四半期連結累計期間の個別決算において、特別損失を計上するとともに、平成30年4月12日に公表いたしました平成31年2月期（平成30年3月1日～平成31年2月28日）の通期連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

また、あわせて役員報酬の減額実施を決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社のゲームサービスに使用するソフトウェア等について、現在の事業環境及び今後の収益見通しを勘案し、432百万円の減損損失を特別損失として計上いたしました。

2. 業績予想の修正について

(1) 平成31年2月期通期連結業績予想の修正（平成30年3月1日～平成31年2月28日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,500	22	15	12	3.00
今回修正予想 (B)	1,970	△570	△600	△1,040	△226.54
増減額 (B-A)	470	△592	△615	△1,052	—
増減率 (%)	31.33	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成30年2月期)	771	△403	△411	△535	△145.23

※. 当社は平成30年2月期連結会計年度において、貸借対照表のみを連結しているため、前期実績については単体実績を参考値として使用しております。

(2) 修正の理由

売上高につきましては、運営移管を受けたゲームタイトル及び既存ゲームタイトルの運用強化により一部ゲームタイトルに係る売上高が好調に推移したことに加え、株式会社一二三書房を子会社化したことにより、前回予想と比べ470百万円上回る見込みです。直近の当社業績動向を踏まえ、一部のゲームタイトルの収益性向上が見込めることに加え、平成30年8月20日に開示いたしました「株式会社一二三書房の第三者割当増資引受による子会社化完了に関するお知らせ」のとおり、平成30年8月20日より株式会社一二三書房を子会社化しており、平成30年9月1日から平成31年2月28日までの当該子会社に係る業績予想を平成31年2月期通期連結業績予想に算入することが可能となったことから業績予想を修正するものであります。

また、利益面につきましては、新規ゲームタイトルのリリース遅れ等による開発期間の長期化による製造労務費や外注費用の追加発生による売上原価増加や、新規ユーザー獲得のため想定以上の広告費を投入したこと、のれん償却費の発生による販売管理費増加等により、当初想定した営業利益から592百万円、経常利益から615百万円、ソフトウェア等の減損損失432百万円の計上により、親会社株主に帰属する当期純利益から1,052百万円、それぞれ下回る見込みとなりました。

3. 役員報酬の減額について

当社は、この度の平成31年2月期通期連結業績予想の修正により大幅な損失を計上する見込みとなった結果を真摯に受け止め、その経営責任を明確にすべく、本日開催の取締役会において、以下の通り役員報酬の減額を決議いたしましたのでお知らせいたします。

- 対象者 : 代表取締役、取締役（社外取締役除く）
減額の内容 : 報酬月額50%（代表取締役社長 CEO）
 : 報酬月額30%（取締役副社長 COO）
対象期間 : 平成31年1月から平成31年5月までの5ヶ月間

(注) 本資料に記載されている業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上